



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和 5 年度
一ツ瀬川農業水利事業
幹線水路付帯施設測量設計（その 2 ）業務

積 算 書
（ 当 初 ）

九州農政局
一ツ瀬川農業水利事業所

九州農政局

九州農政局

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

業務別業務名:測量業務

九州農政局

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

事業名	一ツ瀬川農業水利事業					
業務名	幹線水路付帯施設測量設計（その2）業務					
業務別業務名:測量業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 1号 ***					
S61014	路線測量 作業計画		業務		1,000 業務	歩 A 当たり算出
	路線測量 作業計画			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)作業条件補正值	0.00		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04022	測量主任技師 内業	0.600	人	54,600	32,760	
R04023	測量技師 内業	0.900	人	47,100	42,390	
R04024	測量技師補 内業	0.600	人	36,900	22,140	
	合 計				97,290	算出数量 1,000 業務
	単 価		業務		97,290	
	*** S単 - 2号 ***					
S61015	路線測量 現地踏査		km		1,000 km	歩 A 当たり算出
	路線測量 現地踏査 平地,耕地,0.00,1,000台未満/12時間,0.00			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)地形区分	平地		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)地物区分	耕地		深夜時間:0.0		
	3)特殊地形の補正值	0.00				
	4)現場条件	1,000台未満/12時間				
	5)特殊交通条件による補正值	0.00				
R04023	測量技師 外業	1.600	人	47,100	75,360	
R04024	測量技師補 外業	1.400	人	36,900	51,660	
Y00004	機械経費 2.0%	0.020		127,020	2,540	
Y00004	材料費 7.0%	0.070		127,020	8,891	
	合 計				138,451	算出数量 1,000 km
	単 価		km		138,451	
	*** S単 - 3号 ***					
S61017	路線測量 IP設置測量		km		1,000 km	歩 A 当たり算出
	路線測量 IP設置測量 計上する,平地,耕地,0.00,1,000台未満/12時間,0.00,0			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)IP設置計算の有無	計上する		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)地形区分	平地		深夜時間:0.0		
	3)地物区分	耕地				
	4)特殊地形の補正值	0.00				
	5)現場条件	1,000台未満/12時間				
	6)特殊交通条件による補正值	0.00				
	7)単曲線数区分	0				
R04023	測量技師 内業	1.200	人	47,100	56,520	
R04023	測量技師 外業	1.400	人	47,100	65,940	
R04024	測量技師補 内業	1.000	人	36,900	36,900	
R04024	測量技師補 外業	1.400	人	36,900	51,660	
R04025	測量助手 外業	1.000	人	34,600	34,600	
Y00004	機械経費 3.5%	0.035		245,620	8,597	
Y00004	材料費 3.0%	0.030		245,620	7,369	
	合 計				261,586	算出数量 1,000 km
	単 価		km		235,427	
Y70001	精度管理費	0.100		254,217	25,422	
	*** S単 - 4号 ***					

事業名 一ツ瀬川農業水利事業						
業務名 幹線水路付帯施設測量設計 (その 2) 業務						
業務別業務名: 測量業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S61018	路線測量 中心線測量		km		1.000 km	歩 A 当たり算出
	路線測量 中心線測量 平地, 耕地, 0.00, 50m, 1,000台未満/12時間, 0.00, 0			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 地形区分 2) 地物区分 3) 特殊地形の補正值 4) 測点間隔 5) 現場条件 6) 特殊交通条件による補正值 7) 単曲線数区分	平地 耕地 0.00 50m 1,000台未満/12時間 0.00 0		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
R04023	測量技師 外業	2.500	人	47,100	117,750	
R04023	測量技師 内業	1.800	人	47,100	84,780	
R04024	測量技師補 外業	2.800	人	36,900	103,320	
R04024	測量技師補 内業	1.800	人	36,900	66,420	
R04025	測量助手 外業	2.200	人	34,600	76,120	
Y00004	機械経費 4.0%	0.040		448,390	17,936	
Y00004	材料費 6.0%	0.060		448,390	26,903	
	合 計				493,229	算出数量 1.000 km
	単 価		km		295,937	
Y70001	精度管理費	0.100		466,326	46,633	
	*** S 単 - 5号 ***					
S61019	路線測量 縦断測量		km		1.000 km	歩 A 当たり算出
	路線測量 縦断測量 平地, 耕地, 0.00, 1,000台未満/12時間, 0.00			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 地形区分 2) 地物区分 3) 特殊地形の補正值 4) 現場条件 5) 特殊交通条件による補正值	平地 耕地 0.00 1,000台未満/12時間 0.00		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
R04023	測量技師 外業	1.600	人	47,100	75,360	
R04023	測量技師 内業	1.300	人	47,100	61,230	
R04024	測量技師補 外業	1.800	人	36,900	66,420	
R04024	測量技師補 内業	1.100	人	36,900	40,590	
R04025	測量助手 外業	1.400	人	34,600	48,440	
R04025	測量助手 内業	0.500	人	34,600	17,300	
Y00004	機械経費 2.5%	0.025		309,340	7,734	
Y00004	材料費 3.0%	0.030		309,340	9,280	
	合 計				326,354	算出数量 1.000 km
	単 価		km		326,354	
Y70001	精度管理費	0.100		317,074	31,707	
	*** S 単 - 6号 ***					
S61020	路線測量 横断測量		km		1.000 km	歩 A 当たり算出
	路線測量 横断測量 平地, 耕地, 0.00, 45m未満, 50m, 1,000台未満/12時間, 0.00, 0			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 地形区分 2) 地物区分 3) 特殊地形の補正值 4) 幅区分 5) 間隔区分 6) 現場条件 7) 特殊交通条件による補正值 8) 単曲線区分	平地 耕地 0.00 45m未満 50m 1,000台未満/12時間 0.00 0		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
R04023	測量技師 外業	6.400	人	47,100	301,440	

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

業務別業務名:設計業務

九州農政局

業務別業務名:設計業務

九州農政局

[illegible]

[illegible]

[illegible]

事業名 一ツ瀬川農業水利事業						
業務名 幹線水路付帯施設測量設計 (その 2) 業務						
業務別業務名:設計業務						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 1号 ***					
S02115	技術員		人		1,000 人	歩 A 当たり算出
	技術員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04007 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04007	技術員	1.000	人	33,600	33,600	
	合 計				33,600	算出数量 1.000 人
	単 価				33,600	
	*** S 単 - 2号 ***					
S02116	高速道路料金 (往復)		往復		1,000 各単位	歩 A 当たり算出
	高速道路料金 (往復)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	消費税抜			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード (P) 3)地区資材単価コード (J) 4)施設機械資材単価コード (K)	地域資材 (Pコード) P96001		深夜時間:0.0		
P96001	高速道路料金 (往復)	1.000	往復	8,708	8,708	
	消費税抜					算出数量 1.000 各単位
	合 計				8,708	
	単 価				8,708	
	*** S 単 - 3号 ***					
S02116	ガソリン		L		1,000 各単位	歩 A 当たり算出
	ガソリン			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	J I S 2 号 レギュラースタンド			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード (P) 3)地区資材単価コード (J) 4)施設機械資材単価コード (K)	地域資材 (Pコード) P34001		深夜時間:0.0		
P34001	ガソリン	1.000	L	161	161	
	J I S 2 号 レギュラースタンド					算出数量 1.000 各単位
	合 計				161	
	単 価				161	
	*** S 単 - 4号 ***					
S16001	バイクン[ガソリンエンジン二輪駆動]		日		1,000 各単位	歩 A 当たり算出
	バイクン[ガソリンエンジン二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L,運転1日当たり算出			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械コード 単位が時間のみ 2)機械コード (同上)	M28121 M28121		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)機械損料算出区分 4)運転1日当たり運転時間(T)	運転1日当たり算出 3.6時間		深夜時間:0.0		
	5)運転日に対する供用日の割合(YC)	1.19				
	6)単価計上区分	機械損料等のみ				
	7)岩石補正区分	岩石補正なし				
	10)燃料消費量(入力の場合)	0.0				
	11)消耗部品の計上の有無	消耗部品を計上しない				
	13)消耗部品費の適用条件(2)	消耗部品なし				
	14)名称(消耗部品)	-				
	15)規格(消耗部品)	-				
M28121	バイクン[ガソリンエンジン二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,960	1,960	
	合 計				1,960	算出数量 1.000 各単位
	単 価		各単位		1,960	
Y00001	単位					
	*** S 単 - 5号 ***					
S60008	実施設計 ポンプ場		式		1,000 式	歩 A 当たり算出

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	実施設計 ポンプ場 難易度補正 ,用水機場（揚程が20m以上）,0.3<Q<1.0m3/s,杭基礎,1.00			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計内容 2)機場区分 3)吐出量区分 4)基礎区分	難易度補正 用水機場（揚程が20m以上） 0.3<Q<1.0m3/s 杭基礎				
	5)ポンプ台数補正率 6)1-1.準備作業現地調査 7)1-2.準備作業資料の検討 8)2-1.設計計画比較検討	1.00 計上しない 計上しない 計上する				
	9)2-2.設計計画ポンプ 附帯機場規模検 10)3-1.水理計算揚程、キャパシテーション検討 11)3-2.水理計算ウォーターハンマの検討 12)3-3.水理計算サージングの検討	計上する 計上しない 計上しない 計上しない				
	13)4-1.機場工設計吸水槽 14)4-2.機場工設計吐水槽	計上しない 計上しない				
	15)4-3.機場工設計沈砂池 16)4-4.機場工設計機場本体	計上しない 計上しない				
	17)4-5.機場工設計図作成・数量計算 18)5-1.樋門樋管工設計躯体工	計上しない 計上しない				
	19)5-2.樋門樋管工設計門柱 20)5-3.樋門樋管工設計胸壁翼壁水叩き 21)5-4.樋門樋管工設計操作室管理橋 22)5-5.樋門樋管工設計水門扉	計上しない 計上しない 計上しない 計上しない				
	23)5-6.樋門樋管工設計図作成数量計算 24)6-1.建屋設計建物 25)6-2.建屋設計設計図作成・数量計算 26)7.護岸工の設計	計上しない 計上しない 計上しない 計上しない				
	27)8.土工計画 28)9.仮締切堤設計 29)10.山留工設計 30)11.施工計画の検討	計上しない 計上しない 計上しない 計上しない				
	31)12.特別仕様書作成 32)13.概算工事費積算 33)14.照査 34)15.点検取りまとめ	計上しない 計上しない 計上しない 計上しない				
	35)1-1個別補正準備作業現地調査 36)1-2個別補正準備作業資料の検討 37)2-1個別補正設計計画比較検討 38)2-2個別補正設計計画ポンプ 附帯機場	1.00 1.00 0.30 1.00				
	39)3-1個別補正水理計算揚程キャパシテーション 40)3-2個別補正水理計算ウォーターハンマ検討 41)3-3個別補正水理計算サージング 検討 42)4-1個別補正機場設計吸水槽	1.00 1.00 1.00 1.00				
	43)4-2個別補正機場設計吐水槽 44)4-3個別補正機場設計沈砂池 45)4-4個別補正機場設計機場本体 46)4-5個別補正機場設計設計図・数量	1.00 1.00 1.00 1.00				
	47)5-1個別補正樋門樋管設計躯体工 48)5-2個別補正樋門樋管設計門柱 49)5-3個別補正樋門樋管胸壁翼壁水叩 50)5-4個別補正樋門樋管操作室、管理橋	1.00 1.00 1.00 1.00				
	51)5-5個別補正樋門樋管設計水門扉 52)5-6個別補正樋門樋管設計図・数量 53)6-1個別補正建屋設計建物 54)6-2個別補正建屋設計設計図・数量	1.00 1.00 1.00 1.00				
	55)7個別補正護岸工の設計 56)8個別補正土工計画 57)9個別補正仮締切堤設計 58)10個別補正山留工設計	1.00 1.00 1.00 1.00				
	59)11個別補正施工計画の検討 60)12個別補正特別仕様書 61)13個別補正概算工事費積算 62)14個別補正照査 63)15個別補正点検取りまとめ	1.00 1.00 1.00 1.00 1.00				
R04002	技師長 内業	1.350	人	75,800	102,330	
R04003	主任技師 内業	5.610	人	64,800	363,528	
R04004	技師（Ａ） 内業	6.250	人	57,000	356,250	
R04005	技師（Ｂ） 内業	5.610	人	47,200	264,792	
R04006	技師（Ｃ） 内業	2.260	人	38,400	86,784	
R04007	技術員 内業	1.350	人	33,600	45,360	
	合 計				1,219,044	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,219,044	

事業名	一ツ瀬川農業水利事業				
業務名	幹線水路付帯施設測量設計 (その 2) 業務				

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 6号 ***					
S60017	実施設計 バイブライン		式		1,000	歩 A 当たり算出
	実施設計 バイブライン 難易度補正 ,2,400m, しない,0.05 Q <2m3/s			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計内容	難易度補正 2,400m		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)設計対象延長	2,400m		深夜時間:0.0		
	3)複合設計区分	しない				
	4)流量区分	0.05 Q <2m3/s				
	5)1.現地調査	計上する				
	6)2.資料の検討	計上する				
	7)3-1.設計計画基本条件の検討	計上する				
	8)3-2.設計計画管種、管径の検討	計上する				
	9)4-1.水理検討定常水理解析	計上する				
	10)4-2.水理検討非定常水理解析	計上する				
	11)5.構造計算	計上する				
	12)6.構造図作成	計上する				
	13)7.附帯構造物	計上する				
	14)8.附帯施設構造図作成	計上する				
	15)9.平面縦断面図作成	計上する				
	16)10.土工図作成	計上する				
	17)11.数量計算	計上する				
	18)12.施工計画	計上する				
	19)13.特別仕様書作成	計上する				
	20)14.概算工事費積算	計上する				
	21)15.総合検討	計上する				
	22)16.照査	計上する				
	23)17.点検取りまとめ	計上する				
	24)1個別補正現地調査	1.00				
	25)2個別補正資料の検討	1.00				
	26)3-1個別補正基本条件の検討	1.00				
	27)3-2個別補正管種、管径の検討	1.00				
	28)4-1個別補正定常水理解析	1.00				
	29)4-2個別補正非定常水理解析	1.00				
	30)5個別補正構造計算	1.00				
	31)6個別補正構造図作成	1.00				
	32)7個別補正附帯構造物	1.00				
	33)8個別補正附帯施設構造図作成	1.00				
	34)9個別補正平面縦断面図作成	1.00				
	35)10個別補正土工図作成	1.00				
	36)11個別補正数量計算	1.00				
	37)12個別補正施工計画	1.00				
	38)13個別補正特別仕様書作成	1.00				
	39)14個別補正概算工事費積算	1.00				
	40)15個別補正総合検討	1.00				
	41)16個別補正照査	1.00				
	42)17個別補正点検取りまとめ	1.00				
R04003	主任技師 内業	15.540	人	64,800	1,006,992	
R04004	技師 (A) 内業	36.450	人	57,000	2,077,650	
R04005	技師 (B) 内業	39.250	人	47,200	1,852,600	
R04006	技師 (C) 内業	32.110	人	38,400	1,233,024	
R04007	技術員 内業	33.490	人	33,600	1,125,264	
	合 計				7,295,530	算出数量 1,000 式
	単 価		式		7,295,530	
	*** S 単 - 7号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)		式		1,000	歩 A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)技師長の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	3)主任技師の人数	1.00人				
	4)技師 A の人数	1.00人				
	5)技師 B の人数	1.00人				
	6)技師 C の人数	0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師 外業	1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 (A) 外業	1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師 (B) 外業	1.000	人	47,200	47,200	
	合 計				169,000	算出数量 1,000 式

事業名	一ツ瀬川農業水利事業					
業務名	幹線水路付帯施設測量設計（その2）業務					
業務別業務名:設計業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価		式		169,000	
	*** S単 - 8号 ***					
S63010	打合せ（設計業務基準日額）		回		1,000 回	歩A 当たり算出
	打合せ（設計業務基準日額） 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.8日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ	着手前・最終				
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.800日				
R04003	主任技師	1.300	人	64,800	84,240	
R04004	技師（A）	1.300	人	57,000	74,100	
	合 計				158,340	算出数量 1,000 回
	単 価		回		158,340	
	*** S単 - 9号 ***					
S63010	打合せ（設計業務基準日額）		回		1,000 回	歩A 当たり算出
	打合せ（設計業務基準日額） 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.8日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)打合せ	中間		深夜時間:0.0		
	3)設計用主任技師人数	0.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.800日				
R04004	技師（A）	1.300	人	57,000	74,100	
R04005	技師（B）	1.300	人	47,200	61,360	
	合 計				135,460	算出数量 1,000 回
	単 価		回		135,460	
	*** S単 - 10号 ***					
S63010	打合せ（設計業務基準日額）照査		回		1,000 回	歩A 当たり算出
	打合せ（設計業務基準日額） 一般工種,着手前・最終,0.50人,0.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.8日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ	着手前・最終				
	3)設計用主任技師人数	0.50人				
	4)設計用技師(A)人数	0.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.800日				
R04003	主任技師	0.650	人	64,800	42,120	
	合 計				42,120	算出数量 1,000 回
	単 価		回		42,120	
	*** S単 - 11号 ***					
S63017	旅費交通費（設計外業宿泊用）		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費（設計外業宿泊用） 乙地,ライトバン,1.00日,2日,3時間,なし,100km L（100km以上）			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)宿泊地	乙地		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)交通機関区分	ライトバン				

[illegible]

[illegible]

[illegible]

令和5年度 一ツ瀬川農業水利事業
幹線水路付帯施設測量設計（その2）業務

特 別 仕 様 書

九州農政局一ツ瀬川農業水利事業所

第1章 総 則

第1－1条（適用範囲）

令和5年度 一ツ瀬川農業水利事業 幹線水路付帯施設測量設計（その2）業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」（以下「共通仕様書（設）」という。）、「測量業務共通仕様書」（以下「共通仕様書（測）」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第1－2条（目的）

本業務は、一ツ瀬川農業水利事業の一環として実施する幹線水路付帯施設（下茶加圧機場配水路）に必要な実施設計及び測量を行うものである。

第1－3条（場所）

本業務における対象施設は、宮崎県西都市、児湯郡高鍋町地内で、別添位置図に示すとおりである。

第1－4条（土地の立入り等）

作業実施のための土地の立入り等は、共通仕様書（設）第1－16条によるが、作業に伴う立木伐採等については、事前に伐採範囲の打ち合わせを監督職員と行い、所有者の承諾を得た後に伐採を行う。

第1－5条（低入札価格契約における第三者照査）

- 1 予算決算及び会計令（以下、「予決令」という。）第85条の基準に基づく価格（以下、「調査基準価格」という。）を下回る価格で契約した場合においては、受注者は「業務請負契約書第11条照査技術者」及び「共通仕様書（設）第1－7条照査技術者及び照査の実施」については、受注者が自ら行う照査とは別に、受注者の責任において共通仕様書（設）等を基本とする第三者の照査（以下、「第三者照査」という。）を実施しなければならない。
- 2 第三者照査の企業に要求される資格
 - （1）予決令第98条において準用する予決令第70条及び第71条の規定に該当していないこと。
 - （2）九州農政局において、令和5、6年度（当該業種区分）の一般競争（指名競争）参加資格の認定を受けていること。
 - （3）九州農政局長から、建設コンサルタント業務等に関し指名停止を受けている期間中でないこと。
 - （4）共通仕様書（設）第1－30条守秘義務を遵守できるものであること。
 - （5）中立的、公平な立場で照査が可能な者であること。なお、第三者照査を実施するものは受注者との関係において、以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。

① 資本関係

(ア) 親会社と子会社の関係にある

(イ) 親会社を同じくする子会社同士の関係にある

② 人的関係

(ア) 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている

3 第三者照査を行う照査技術者に要求される資格

第三者照査を行う照査技術者は、受注者が配置する照査技術者と同等の能力と経験を有する以下の者であること。

○照査技術者と同等の同種又は類似業務実績を有する者

○照査技術者と同等の技術者資格を有する者

4 照査技術者の通知

受注者は、自ら行う照査の他に、第三者照査を行う照査技術者を定め発注者に通知するものとする。

5 照査計画

受注者は、第三者の照査方法については、自ら行う照査とあわせて業務計画書に照査計画として、具体的な照査時期、照査事項等を定めなければならない。

また、照査結果及び照査状況については、その都度監督職員に報告しなければならない。

6 報告書原稿作成段階時打合せへの立会い

特別仕様書第5－1条業務打合せに示す打合せのうち、報告書原稿作成段階での打合せ時には、第三者照査を行う照査技術者も立ち会うものとする。

7 第三者照査の照査技術者の AGRIS 登録

共通仕様書（設）第1－12条の農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービス（AGRIS）の登録に当たっては、第三者照査を行った照査技術者の実績登録は認めない。

8 契約不適合責任

引き渡された成果物が種類又は品質に関して契約の内容に適合しないものであるときは、業務請負契約書第41条のとおり、受注者に対し、成果物の修補又は代替物の引渡しによる履行の追完を請求することができるものであり、第三者照査を実施したものが責任を負うものではない。

第1－6条（履行確実性評価の達成状況の確認）

本業務の受注にあたり、調査基準価格を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。

なお、業務完了検査時まで提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績

評定に厳格に反映させるものとする。

- ① 審査項目 a) ～ c) において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- ② 審査項目 d) において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- ③ その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
- ④ 業務成果品のミス、不備 等

第 1－7 条（一般事項）

業務請負契約書及び共通仕様書等に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 作業実施の順序、方法等は監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
- (2) 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有した者とする。
- (3) 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。

第 1－8 条（管理技術者）

管理技術者は、共通仕様書（設）第 1－6 条第 3 項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技 術 部 門	選 択 科 目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木
		農業－農業農村工学
	農業	農業土木、農業農村工学
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティング マネージャー	農業土木	

第 1－9 条（照査技術者）

- (1) 照査技術者は、共通仕様書（設）第 1－7 条第 2 項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技 術 部 門	選 択 科 目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木
		農業－農業農村工学
	農業	農業土木、農業農村工学
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティング マネージャー	農業土木	

- (2) 本業務における照査は、「設計業務照査の手引書（案）」（以下「照査手引書」とい

う。)に基づき実施する。

また、「照査手引書」に基づく照査により作成した資料は、共通仕様書（設）第 1－7 条第 5 項に規定する報告書に含めて提出するものとする。

（3）当該業務の中で照査技術者は、管理技術者を兼務することはできない。

第 1－10 条（担当技術者）

担当技術者は、共通仕様書（設）第 1－8 条によるものとする。

第 1－11 条（配置技術者の確認）

共通仕様書（設）第 1－11 条における業務組織計画の作成及び共通仕様書（設）第 1－12 条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- （1）受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- （2）農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

第 1－12 条（保険加入）

受注者は、共通仕様書（設）第 1－37 条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員から請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第 2 章 作業条件

第 2－1 条（適用する図書）

本業務の実施にあたっては、以下の事項に留意して作業を進めるものとする。

番号	名 称	発行所	制定(改訂)年月
1	土地改良事業計画設計基準・設計「パイプライン」	農林水産省農村振興局	平成 21 年 3 月 (令和 3 年 6 月一部改正)
2	土地改良事業計画設計基準・設計「ポンプ場」	農林水産省農村振興局	平成 9 年 1 月 (平成 30 年 5 月一部改正)

第 2－2 条（設計条件）

設計作業における設計条件は、次のとおりである。

- （1）管水路
 - 1) 設計基本条件
設計流量 0.451m³/s
- （2）ポンプ場

1) 設計基本条件

全揚程 52.4m

計画揚水量 0.451m³/s

第2-3条 (測量作業条件)

本測量の基準となる既知点は、関連業務である令和6年度 一ツ瀬川農業水利事業
下茶加圧機場配水路測量業務（仮称）の成果となる基準点及び水準点を使用することとする。

第2-4条 (貸与資料等)

貸与資料は、次のとおりである。

番号	貸 与 資 料	数量
1	平成31年度国営土地改良事業地区調査 一ツ瀬川地区施設整備計画検討業務 報告書	1部
2	令和3年度国営土地改良事業地区調査 一ツ瀬川地区施設整備計画資料作成業務 報告書	1部
3	令和4年度一ツ瀬川農業水利事業 幹線水路バイパス管路路線計画検討業務 報告書	1部
4	令和4年度一ツ瀬川農業水利事業 幹線水路バイパス管路測量業務 報告書	1部
5	令和4年度一ツ瀬川農業水利事業 幹線水路バイパス水路実施設計（高鍋工区）業務 報告書	1部
6	令和4年度一ツ瀬川農業水利事業 幹線水路バイパス水路実施設計（新富工区）業務 報告書	1部
7	令和5年度一ツ瀬川農業水利事業 幹線水路バイパス水路実施設計（西都工区）業務 報告書	1部
8	令和5年度一ツ瀬川農業水利事業 幹線水路バイパス水路実施設計（木城工区）業務 報告書	1部

第2-5条 (貸与資料等の取扱い)

第2-4条に示す貸与資料等の取扱いは次のとおりとする。

- (1) 貸与資料等の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 貸与資料等は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

第2-6条 (関連業務)

本業務と関連する他業務は次のとおりであり、監督職員及び関連業務の管理技術者と

連携を密にして、互いに協調の図られた設計としなければならない。

業務名	業務実施期間
令和6年度一ツ瀬川農業水利事業 下茶加圧機場配水路路線計画検討業務	令和6年9月 ～令和6年10月
令和6年度一ツ瀬川農業水利事業 下茶加圧機場配水路測量業務（仮称）	令和6年10月 ～令和7年2月

第3章 作業内容

第3－1条（作業項目及び数量）

（1）測量にかかる作業項目及び数量は、次のとおりである。

作業項目表

作 業 項 目	数 量	備 考
1. 測量業務		
（1）作業計画	1 式	
（2）現地踏査	L＝2.4km	
（3）IP 設置測量	L＝2.4km	
（4）中心線測量	L＝2.4km	
（5）縦断測量	L＝2.4km	
（6）横断測量	L＝2.4km	測量幅 32m

（2）設計にかかる作業項目及び数量は、次のとおりである。

なお、詳細は別表【作業項目一覧表】別表に示すものとする。

作業項目表

作 業 項 目	数 量	備 考
1. 設計業務		
（1）パイプライン設計作業	2,400m	実施設計
（2）ポンプ場設計作業	1 箇所	位置選定

第3－2条（作業の留意点）

業務の実施あたって、特に留意する点は次のとおりとする。

（1）測量

1）IP 設置測量

- ① IP 設置に当たっては、事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- ② IP 点には引照杭を、仮水準点には保護杭を設けるものとする。
- ③ 杭打ちが不可能な所では、固定物に打鉋等を行い示すことができるが、この場合には固定物の近くに杭を打設し、名称等を付記して目視確認が十分にできるものとする。

2）中心線測量

- ① 中心杭の間隔は、原則として 50m 間隔とし、地形の変化点等必要に応じて追加点を設置するものとする。
- ② 杭打ちが不可能な所では、固定物に打鉋等を行い示すことができるが、この場合には固定物の近くに杭を打設し、名称等を付記して目視確認が十分にできるものとする。

3) 縦断測量

縦断面図の縮尺は、縦 $S = 1/100$ 、横 $S = 1/500$ とする。

4) 横断測量

- ① 中心杭の間隔が著しく短く、かつ横断形状の変化の少ない場合は、監督職員の承諾を得て、その中心杭地点の横断測量を省略できるものとする。
- ② 横断測量の縮尺は $S = 1/100$ とする。

(2) 設計

- 1) 設計に当たっては、造成される施設が必要な機能及び安全で所要の耐久性を有するとともに維持管理、施工性及び経済性について考慮しなければならない。
- 2) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- 3) 第 2 - 4 条及び共通仕様書に示す貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- 4) 施工上特に注意する点を特記する必要がある場合には、設計図面に記入するものとする。
- 5) 当該業務で実施するコスト縮減対策の検討作業に関し、検討の視点、施策の提案内容及び比較検討の過程や結果等の成果については、報告書中に「コスト縮減対策」の章を別途設定し、取りまとめるものとする。なお、コスト縮減に関する新技術や新工法等の選定にあたっては、農業農村整備民間技術情報データベース (NNTD) 及び新技術情報システム (NETIS) 等を積極的に活用しなければならない。
 - ・ 農業農村整備民間技術情報データベース (NNTD) については、http://www.nn-techinfo.jp/mdb_web/MdbTop.do を参照。
 - ・ 新技術情報システム (NETIS) は、<http://www.netis.mlit.go.jp/NetisRev/NewIndex.asp> を参照。
- 6) 数量計算に当たっては、「工事工種の体系化」に基づき作成するものとする。

なお、「工事工種の体系化」に該当しない工種や用語については、監督職員と協議するものとする。

 - ・ 「工事工種の体系化」は http://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/kouzi_kousyu/ を参照。

第 3 - 3 条 (業務の成果品質確保対策)

契約後業務着手時並びに最終打合せ時において、受発注者間の設計方針、条件等の確認の場として、次の会議を設置するので、管理技術者等の受注者代表は、次の事項並びに

「業務の成果品質確保対策」(<http://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/index.html>)を十分に理解のうえ、対応するものとする。

(1) 業務確認会議

業務着手時に、管理技術者・担当技術者並びに事業所長、主任監督員（主催）、監督員が、設計方針、条件等の確認を一堂に会して実施することにより、業務の円滑な推進と成果物の品質確保を図るものとする。

1) 業務確認会議とは、発注者及び受注者が集まり、次の事項について確認を行う会議を開催するものである。なお、確認事項については変更する場合がある。

- ① 設計条件・前提条件
- ② 業務計画の妥当性
- ③ スケジュール
- ④ 設計変更内容
- ⑤ その他：事業間連携、資材選定チェック、コスト縮減、環境対策等の促進等

2) 会議の開催については、監督員が指示するものとする。なお、開催時期の変更、開催回数の追加が必要な場合は、監督員と協議するものとし、規定の打合せ時以外に開催する場合の費用については、必要に応じ設計変更で計上する。

(2) 合同現地踏査

管理技術者・担当技術者並びに事業所長、主任監督員（主催）、監督員が、必要に応じて合同で現地踏査を行うことにより、設計条件や施工の留意点、関連事業の情報、設計方針の明確化等、情報共有を図るものとする。

(3) 照査の確実な実施

業務の最終打合せ時において、成果物のうち照査報告書については、照査を実施した照査技術者自身による報告を原則とする。

また、最終打合せ時以外にあっても、必要に応じて、照査技術者自身からの照査報告を実施できるものとする。

(4) 当該業務成果による工事発注の際に、別途工事の受発注者が当該工事に対する「工事の施工効率向上対策」(<http://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/index.html>)による工事円滑化会議及び設計変更確認会議を開催することとしており、同会議に出席要請があった場合には応じるものとする。なお、出席に必要な経費については、別途契約により対応することとする。

(5) 業務確認会議において確認した事項については、打合せ記録簿に記録し、相互に確認するものとする。

第3－4条（業務写真における黒板情報の電子化）

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことが

できる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の（１）から（４）によりこれを実施するものとする。

（１）使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC 暗号リスト）」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

（２）機器等の導入

- １）黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- ２）受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

（３）黒板情報の電子的記入に関する取扱い

- １）受注者は、（１）の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- ２）本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。

なお、上記１）に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）６写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

- ３）黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

（４）写真の納品

受注者は、（３）に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時に URL（<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>）のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

（５）費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

第５章 打合せ

第５－１条（打合せ）

共通仕様書（設）第１－１０条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初 回 設計作業着手の段階

第2回 中間打合せ（基本条件整理段階）

第3回 中間打合せ（計画・設計段階）

第4回 中間打合せ（施工計画段階）

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合には、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、共通仕様書（設）第1－11条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

第6章 成果物

第6－1条（成果物）

成果物を共通仕様書（設）第1－17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- （1）成果物の電子媒体（CD－R若しくはDVD－R）正副2部
- （2）成果物の出力 1部（（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

なお、報告書には本業務の要約版を掲載するものとし、その内容については別途監督職員の指示によるものとする。

第6－2条（開示用成果物の作成及び提出）

第6－1条に記載している成果物（PDFファイル）に含まれる「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」における「不開示情報」に該当する情報について、システムの編集機能により、その箇所を黒塗りにする措置を行い提出しなければならない。

開示用成果物の電子媒体（CD－R若しくはDVD－R）1部

第6－3条（成果物の提出先）

成果物の提出先は、次のとおりとする。

宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋300

九州農政局一ツ瀬川農業水利事業所

第7章 契約変更

第7－1条（契約変更）

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次

のとおりとする。

- (1) 第2－2条に示す「設計条件」に変更が生じた場合。
- (2) 第3－1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- (3) 第5－1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- (4) 第6－1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- (5) 履行期間の変更が生じた場合。
- (6) 関係機関等対外的協議等により設計計画等に変更が生じた場合。
- (7) その他

第8章 定めなき事項

第8－1条（定めなき事項）

この特別仕様書に定めなき事項又は本業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別表「作業項目内訳表」

1. 設計作業【実施設計 パイプライン】 L=2,400m

作 業 項 目	作 業 内 容	数量	備考
1 現地調査	実施設計に必要な調査を行う。	1 式	
2 資料の検討	実施設計のための資料収集及び貸与資料の内容を把握する。	1 式	
3 設計計画 3-1 基本条件の検討	詳細実測資料に基づく水理構造条件を決定する。 (補足説明) 貸与資料、現地調査等から、指示する基本条件を1/500 地形図(実測図)で検討し、決定する。	1 式	
3-2 管種・管径の検討	管種・管径について詳細な比較をする。 (補足説明) 水理ユニット内の等動水勾配法による水頭配分を最適な水頭配分に修正し、これによる管種・管径を決定する。	1 式	
4 水理検討 4-1 定常水理解析	詳細水理計算を行う。 (補足説明) 水理ユニット区分毎に全損失水頭を計算し、 $H \cdot W$ 公式により水理計算を行い、口径及び水頭の適否を検討する。なお、キャビテーションについても検討する。	1 式	
4-2 非定常水理解析	詳細水理計算を行う。 (補足説明) 水理ユニット区分毎に水撃圧を数値解法により計算し、この結果について経験則による値との対比を行って適切に水撃圧を予測する。	1 式	
5 構造計算	各実施断面について、内外圧に対する詳細な構造計算を行う。 (補足説明) 埋設管については、内外圧荷重の変化毎且つスラストブロック毎に構造計算 を実施する。	1 式	
6 構造図作成	各タイプの構造詳細図及びスラストブロックと異形管構造詳細図等を作成する。 (補足説明) 構造詳細図とは、構造図の他に施工上必要な基礎工及び箱拔等を記入する図をいう。この構造詳細図を施工上必要な構造物について作成する。	1 式	
7 附帯構造物	各構造物の詳細な構造計算を行い決定する。 (補足説明) 各附帯各種構造物について構造計算を行い、規模を決定する。	1 式	
8 附帯施設構造図作成	構造一般図、構造詳細図、配筋図、鉄筋加工図を作成する。 (補足説明) 各附帯施設について作成する。なお、構造詳細図と	1 式	

	は 6. 構造図作成の項参照。		
9 平面・縦断図作成	詳細の平面縦断図、管割図を作成する。 (補足説明) 縮尺の標準は縦 1/100、横 1/500 とし、測点間隔は 50mとする。平面・縦断図に管径・管種区分、管割図並びに附帯工を記入する。	1 式	
10 土工図作成	施工法区分毎土工数量等を記入する。 (補足説明) 流用土、搬出土(捨土)、搬入土(購入土)等が算定できる図面を作成する。	1 式	
11 数量計算	土工、コンクリート、鉄筋、型枠、管、附帯工、仮設工、材料等の詳細な数量計算を行う。 (補足説明) 数量計算運用規定に基づいて数量計算を行う。	1 式	
12 施工計画	工程計画、施工順序、方法や主要仮設の施工計画等の詳細計画図を作成する。	1 式	
13 特別仕様書作成	工事実施に必要な特別仕様書を作成する。 (補足説明) 既施工地区における特別仕様書を参考に本業務について工事実施のための必要な特別仕様書を作成する。	1 式	
14 概算工事費積算	各工種の単価を作成し、概算工事費を算定する。	1 式	
15 総合検討	前項までの作業について総合的に検討し、工事実施のための点検を行う。 (補足説明) 前項までの作業について総合的に検討し、工事実施に当たり必要なコメント を付記する。	1 式	
16 照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	1 式	
17 点検取りまとめ	各作業項目の成果物の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。	1 式	

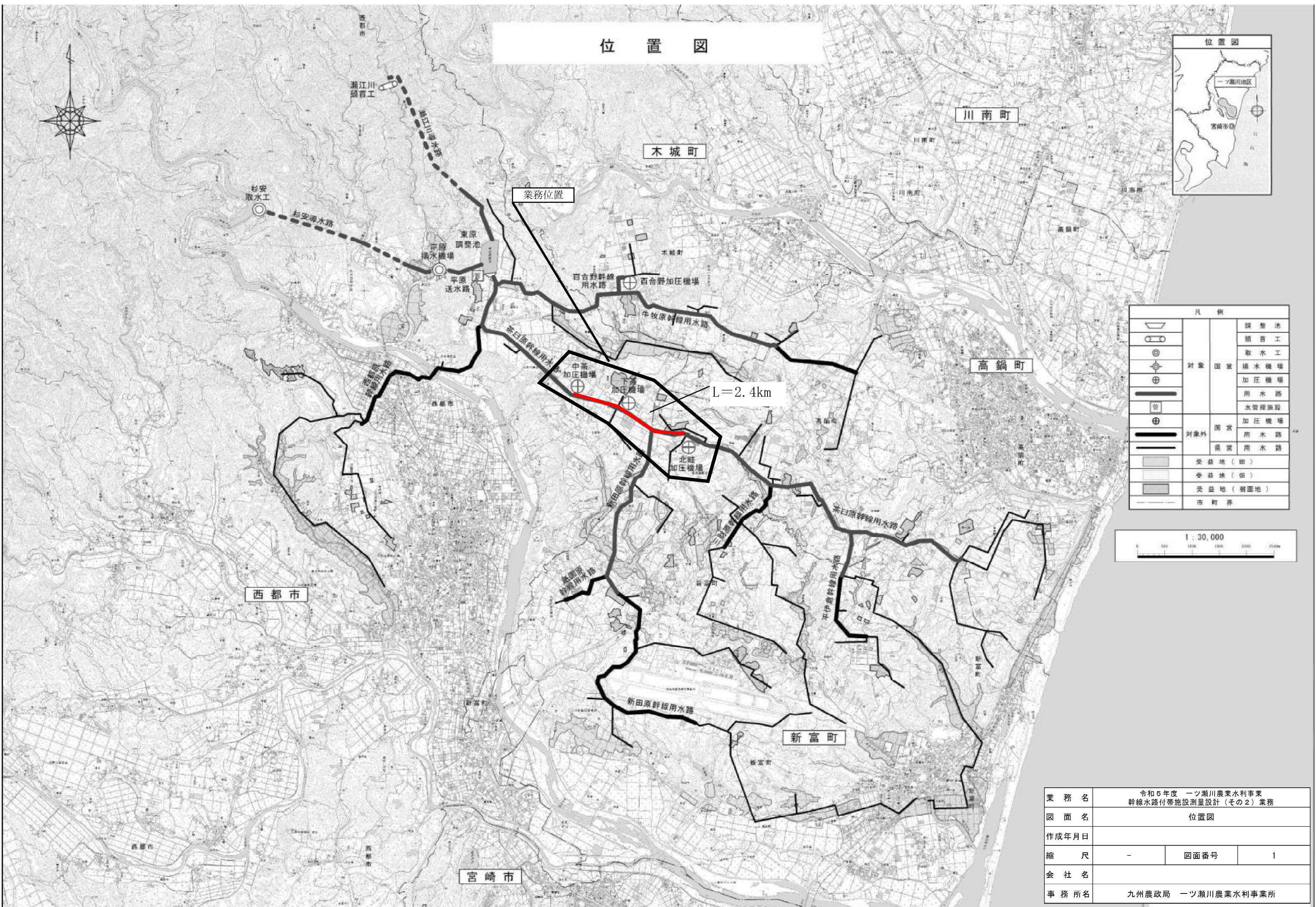
2. 設計作業【実施設計 ポンプ場】 1 箇所

作 業 項 目	作 業 内 容	数量	備考
1 設計計画 1-1 比較検討	詳細の調査資料に基づき、ポンプ原動機の機種、台数、口径、機場位置、形式、基礎工の詳細比較を行う。	1 式	
1-2 ポンプ及び付帯設備機場規模の検討	ポンプ主要機器の選定配置、機場規模の基本的事項を決定する。	1 式	

令和5年度 一ツ瀬川農業水利事業
幹線水路付帯施設測量設計（その2）業務

図 面 目 録

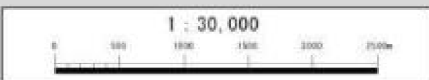
図面番号	図 面 名 称	枚数	備考
1	位置図	1	
2	下茶加圧機場 改修計画図	1	
計		2	



位置図



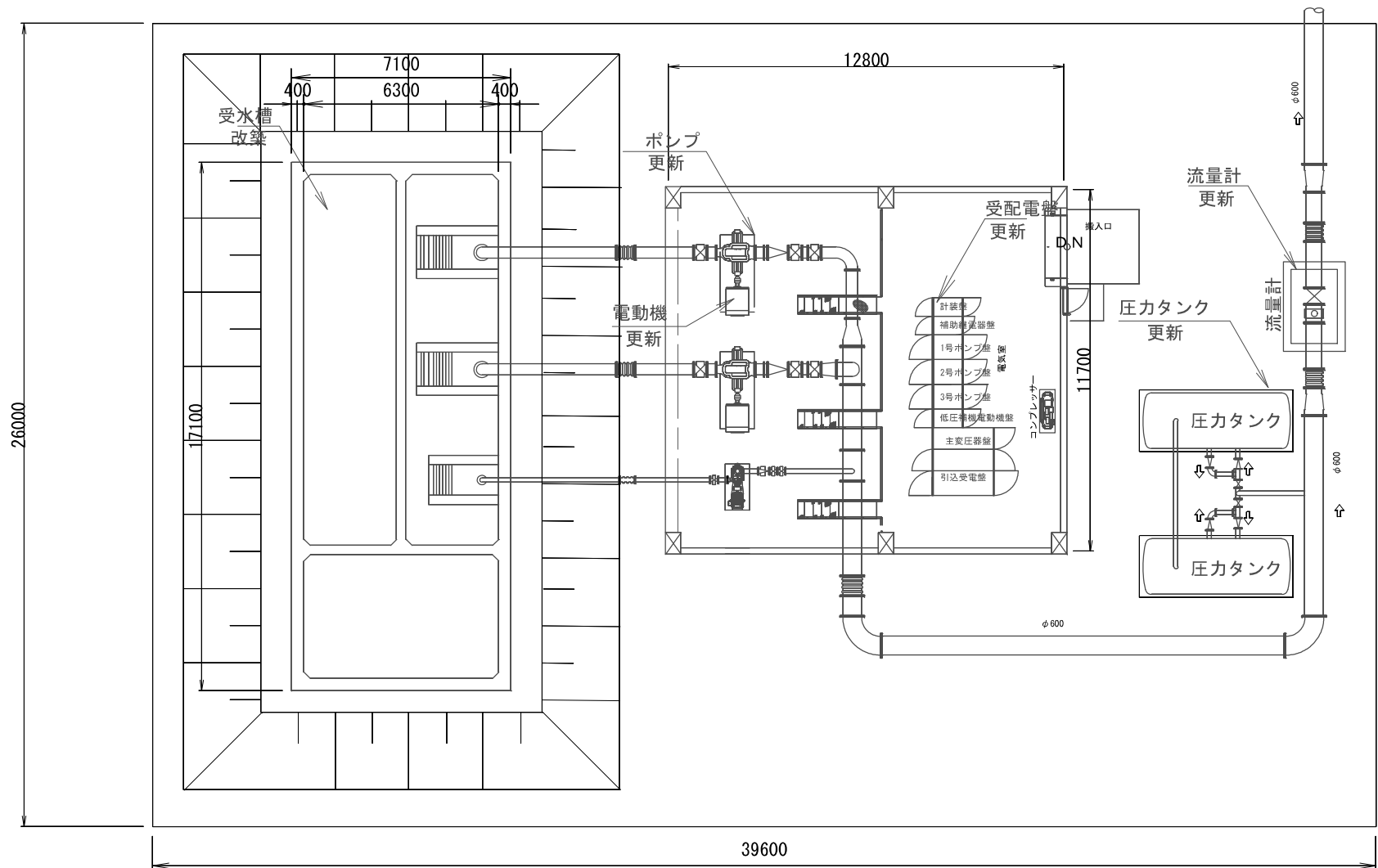
凡 例			
	対象	国 営	調整池
			頭首工
			取水工
			揚水機場
			加圧機場
			用水路
			
	対象外	国 営	加圧機場
			用水路
		県 営	用水路
	受益地（田）		
	受益地（畑）		
	受益地（樹園地）		
	市 町 界		



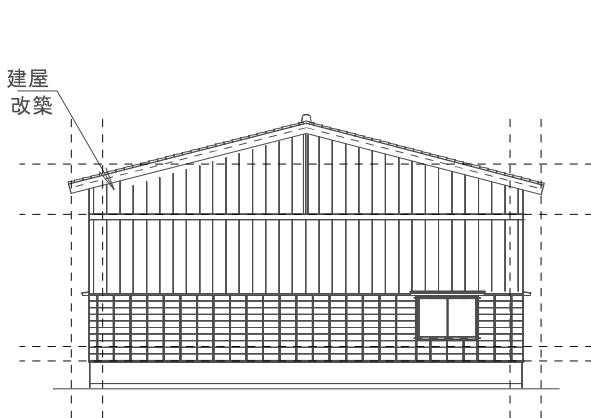
業 務 名	令和5年度 一ツ瀬川農業水利事業 幹線水路付帯施設測量設計（その2）業務		
図 面 名	位置図		
作成年月日			
縮 尺	-	図面番号	1
会 社 名			
事 務 所 名	九州農政局 一ツ瀬川農業水利事業所		

主要構造図
下茶加圧機場 改修計画図

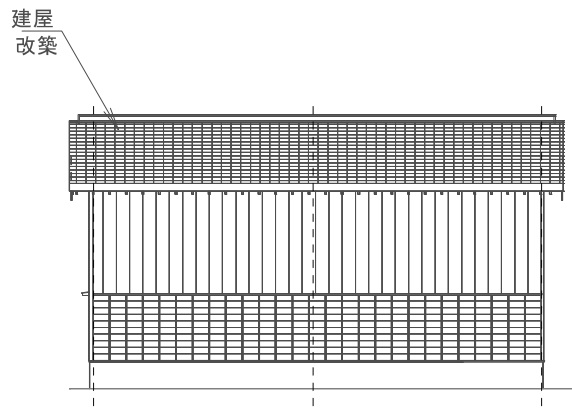
平面図 S=1:200



上屋立面図 S=1:200
Y1通側



上屋立面図 S=1:200
X1通側



業務名	令和5年度 一ツ瀬川農業水利事業 幹線水路付帯施設測量設計（その2）業務		
図面名	下茶加圧機場 改修計画図		
作成年月日			
縮尺	S=1:200	図面番号	2
会社名			
事務所名	九州農政局 一ツ瀬川農業水利事業所		